

飲酒事故防止について

「飲酒運転で〇人死傷」といった報道に接するたびに心が痛みます。飲酒運転は、公務員だけでなく、市民として絶対にやってはならないこと。それはだれでもわかっているはずです。

飲酒の場所と自宅が 3 キロ以内で、裏通りに精通している人は、飲酒運転をする可能性が特に高いといえます。警察に逮捕され、新聞などに報道され、勤務先から懲戒処分を受ける。そんな自分の姿を想像したことがありますか？ 「絶対に飲酒運転をしない」という強い決意が必要なのはもちろんですが、防止を念頭に日ごろの行動を慎むことも大切です。以下の点を実行してみてください。

- 通勤のために、最寄り駅まで自動車を運転しない
- 酒を飲んだら、タクシー代や代行車の料金を惜しまない
- 会社の上司、先輩らから暗に飲酒運転を求められても絶対に断る
- 運転免許証に家族の写真を入れておく

飲酒による事故は飲酒運転ばかりではありません。けんか、痴漢、転落事故など、酒がきっかけの事件、事故も多発しています。そうならないためには一。

- 自分の適量を知る
- 「隣の人と話したがる」「大声を出す」「酒に飲まれる」といった、自分の飲酒癖を知っておく
- 遅くまで飲まないこと
(飲酒による事件、事故の当事者には午後 11 時以降まで飲んでいる人が多い)

飲酒事故は、自分ばかりか家族の人生まで暗転させてしまいます。自ら姿勢を正し、酒による事件、事故は絶対に起こさないと心に誓ってください。